

# やさしい日本語

で話しかけてみよう



11月21日（土）に、イーグレひめじセミナー室Aにおいて、ボランティアステップアップ学習会「やさしい日本語で話しかけてみよう」を実施しました。やさしい日本語は震災時における防災、減災を目的として自治体などが取り組みを始めましたが、近年では日常生活の中における外国人とのコミュニケーションツールの一つとして注目を集めています。

講師には、神戸YWCA 副主任講師の福井武司先生をお迎えし、日本語学習支援ボランティアやボランティア活動に興味のある方など19名が、やさしい日本語の基本的な考え方や発展的な使い方を学習しました。



「隣の住人が夜に騒いでいたら何と言って注意するか」という課題にグループで取り組み、普段、日本人が使っているあいまいな言い方が、外国人を混乱させてしまうということを教わりました。また、日本人が苦手とされるジェスチャーや表情を使って表現することも、やさしい日本語には大切なポイントであるということも紹介されました。

後半には、実際に日本語学習者に協力してもらい、デモレッスンを行いました。課題の文章をやさしい日本語で言い換えて学習者に話してみ、伝わるかどうかを発表していただきました。参加者は、前半の講義を参考に、絵や写真・実物を用意したり、身振りを使ったりと工夫しながら実践しました。

事前に寄せられた参加者からの質問や不安に対しても、丁寧に回答してくださり、学習会後のアンケートでは、「役に立った」「とても興味深く、これからの指導に活かしたい」などと満足度の高い講座となりました。



講師 福井 武司 氏

プロフィール：

神戸YWCA 学院をはじめ海外産業人材育成協会（HIDA）や、関西学院大学、兵庫県国際交流協会（HIA）などで日本語を教えている。

